



2015年3月期 決算説明会



八千代工業株式会社

2015年5月11日

ご報告

国内板金部品事業の譲渡協議開始について

国内板金部品事業の譲渡協議を開始

YACHIYO



海外



Yachiyo of Ontario Manufacturing, Inc.
(カナダ)

Yachiyo Manufacturing of Alabama, LLC
(U.S.A.)



2014年6月 Matcor-Matsu Group of Companiesに譲渡

2014年10月 UNIPRES ALABAMA INC.に板金事業を譲渡

2013

2014

2015

2016

国内

2015年5月8日

**株式会社ワイジーテックおよび四日市製作所プレス工場の譲渡について
東プレ株式会社と協議を開始しました**



株式会社 ワイジーテック
(三重県員弁郡東員町)



四日市製作所プレス工場
(三重県四日市市)

国内外の板金部品事業を終了

**主力製品
(PFT・サンルーフ)
に経営資源を集中**

PFT・・・Plastic Fuel Tank (樹脂製燃料タンク)

事業の取り組み



代表取締役社長 笹本 裕詞

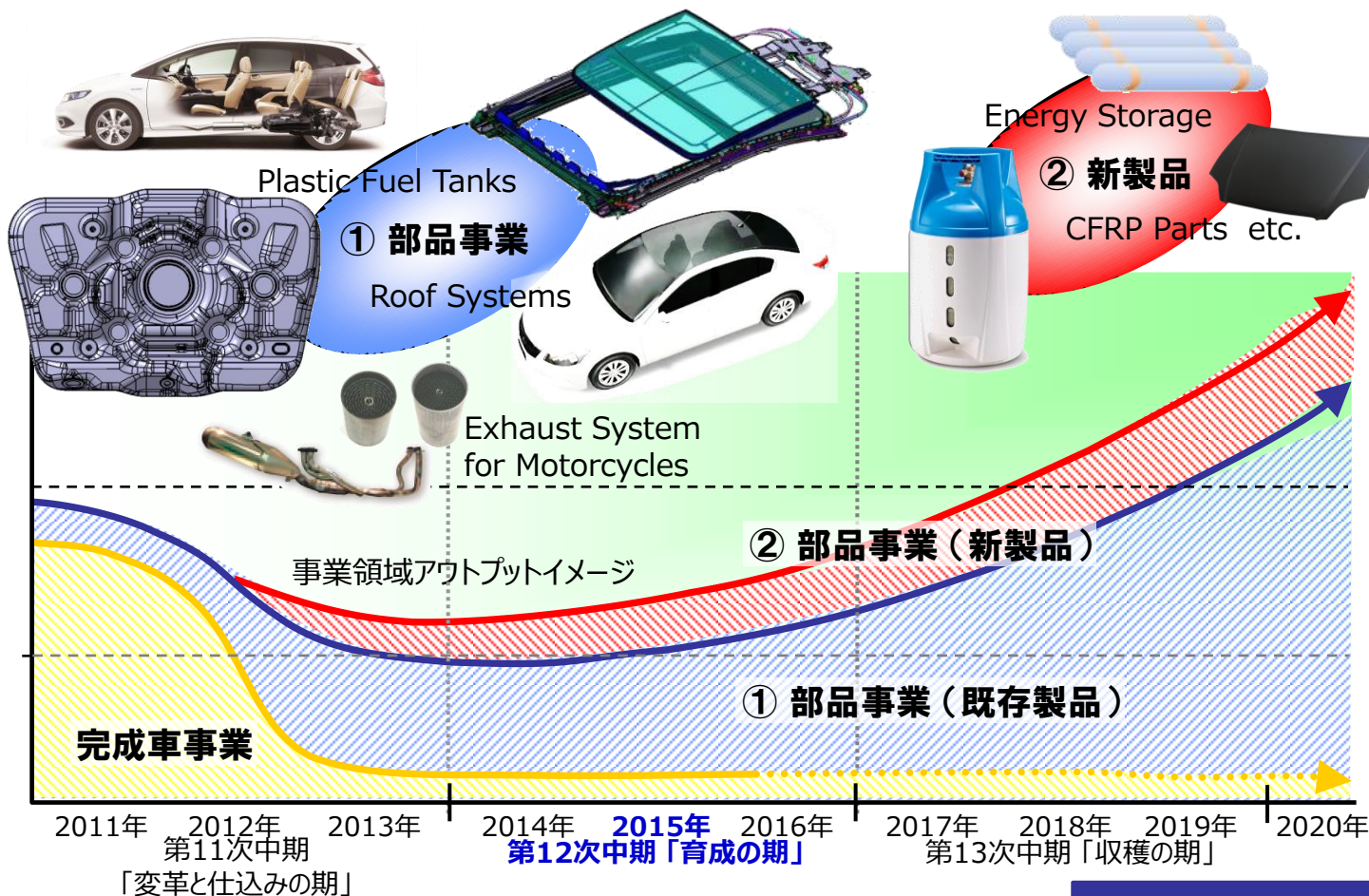


「育成の期」と位置づけ 「グローバルでトップクラスの技術・製品の競争力の獲得」 を目指す



ワールドワイドプレイヤーに向けて

YACHIYO



2020年

卓越した技術と
特長ある製品で
真のワールドワイド
プレイヤーになる



技術・製品の競争力、
事業、人材の3本柱で
トップランナーになる

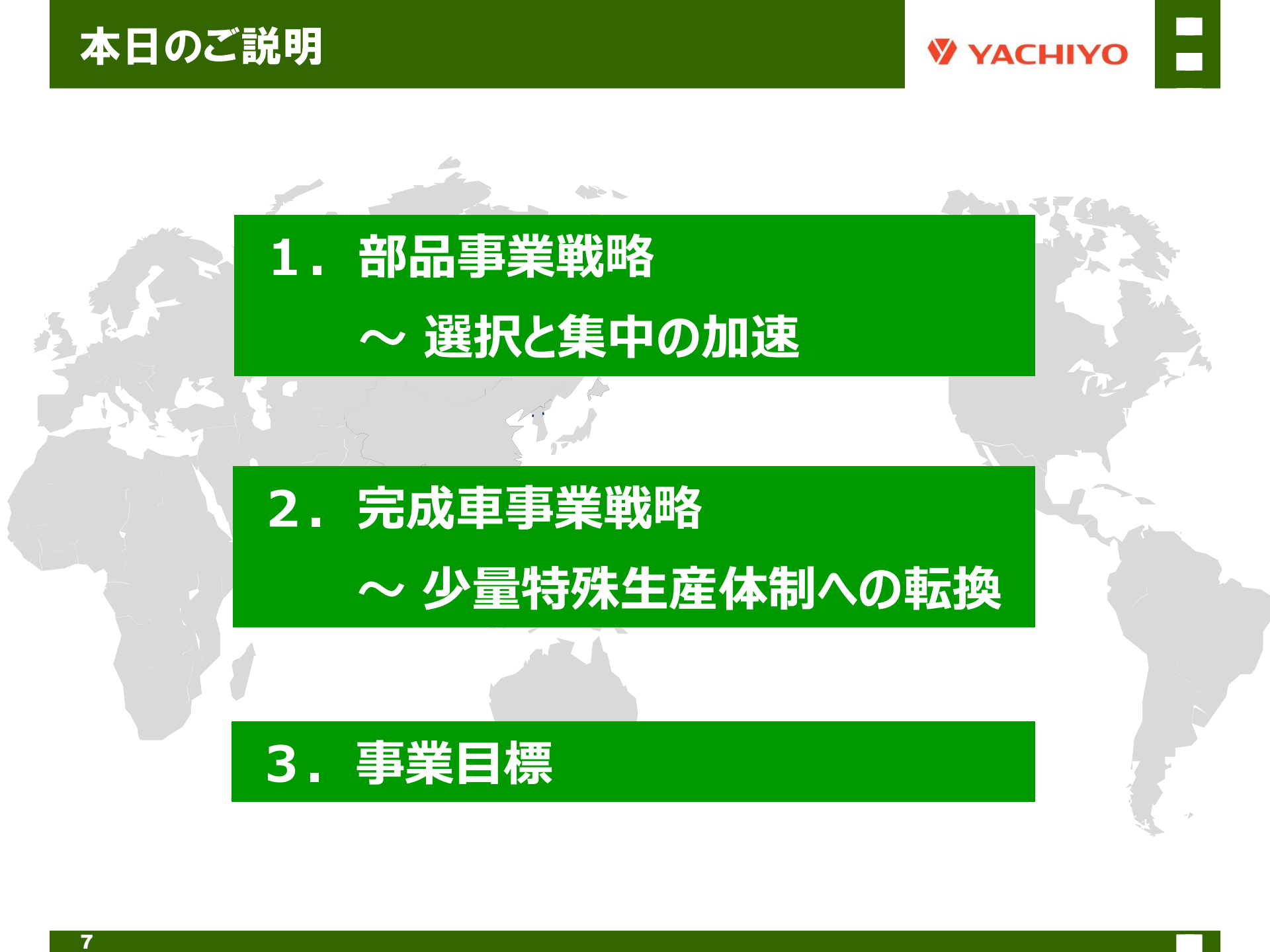


社会から存在を
期待される企業へ



ワールドワイドプレイヤーに向けた
『選択と集中』

部品事業：主力製品の競争力強化
完成車事業：少量特殊生産に特化

A light gray world map is visible in the background of the slide.

1. 部品事業戦略
～ 選択と集中の加速

2. 完成車事業戦略
～ 少量特殊生産体制への転換

3. 事業目標

A faint, light gray world map serves as the background for the slide content.

1. 部品事業戦略 ～ 選択と集中の加速

2. 完成車事業戦略 ～ 少量特殊生産体制への転換

3. 事業目標

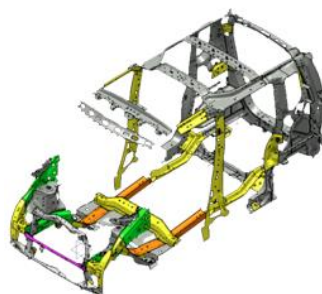


ワールドワイドプレイヤーに向けた 『選択と集中』

経営資源を主力製品（PFT・サンルーフ）に
振り向け、競争力を強化し、グローバルで販売を拡大



世界10カ国、25拠点で事業を展開



生産機種のグローバル化
開発のフロントローディング加速

- ・ グローバル機種に対応した仕様提案
品質熟成展開
- ・ 衝突安全性やクルマの機能・性能に関わる
シミュレーション、最適なボディ構造設計

メガサプライヤーとの競争

『大規模な投資・要員が必要』

国内外の板金部品事業を終了
付加価値の高い主力製品に集中

創業 (1953)

1965

1977

1989

2000

2008

2014

2015

2016

プレス加工に本格進出

鉄製燃料タンクを柏原工場生産開始

初の海外拠点

Yachiyo of Ontario Manufacturing, Inc.
(YOM) をカナダに設立

Yachiyo Manufacturing of Alabama, LLC
(YMA) をU.S.Aに設立

株式会社 ワイジーテックを設立

6月 YOMを譲渡

10月
YMAを譲渡

5月

東プレ株式会社との譲渡協議を開始



ワイジーテック

四日市製作所 プレス工場



経営資源の配分と主力製品の生産台数推移



研究開発費

(百万円)

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

燃料タンク

サンルーフ

板金部品

二輪部品

生産台数

(燃料タンク+サンルーフ)

生産台数

(千台)

8,000

7,000

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

燃料タンク 3,140千台
サンルーフ 1,390千台

燃料タンク 4,050千台
サンルーフ 1,740千台

2011年3月期

2012年3月期

2013年3月期

2014年3月期

2015年3月期

2016年3月期

2017年3月期

2018年3月期

2019年3月期

2020年3月期

第11次中期
「変革と仕込みの期」

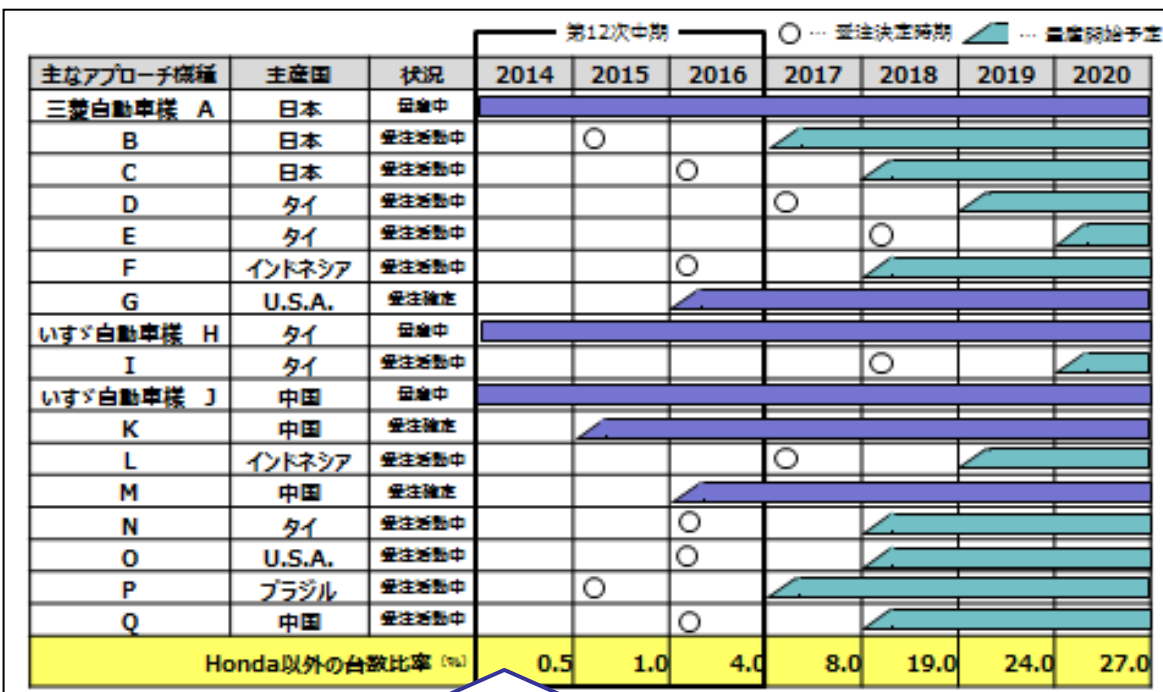
第12次中期
「育成の期」

第13次中期
「収穫の期」

選択と集中に合わせた開発リソースの投入

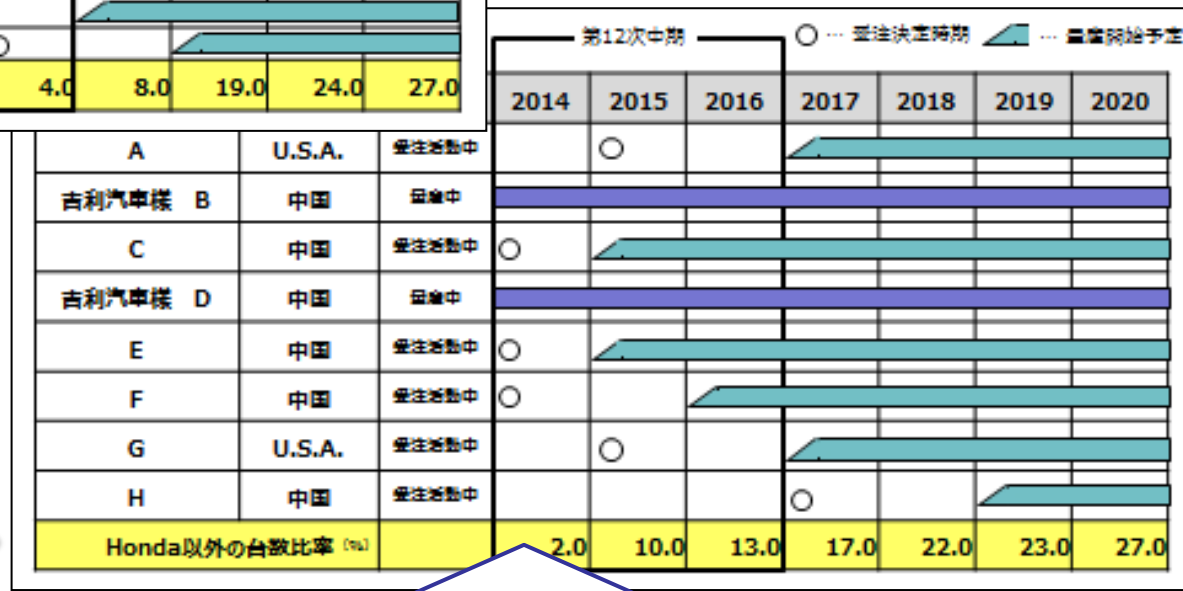


PFT



実績 1.3%

サンルーフ

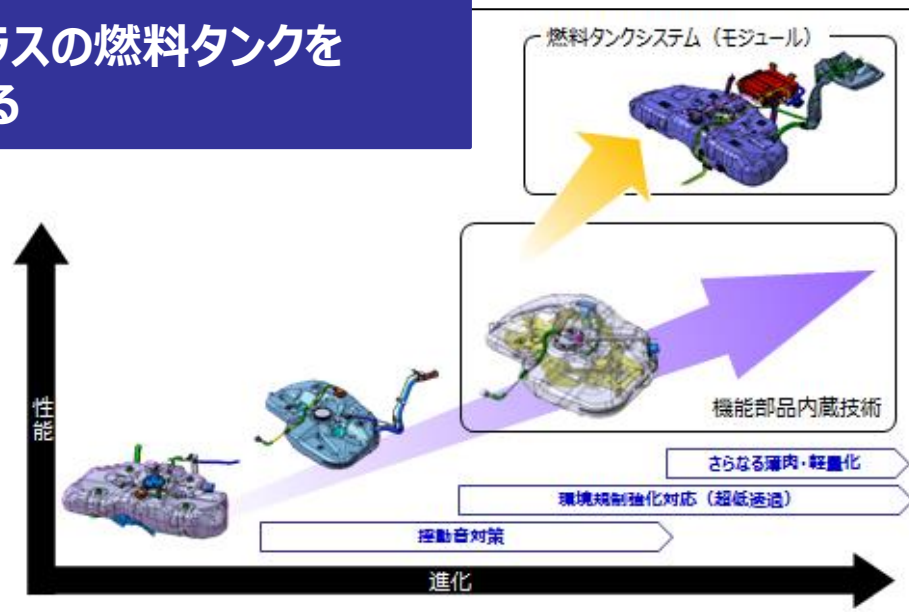


実績 4.5%



〈 PFT 〉

性能・ニーズを確実に満たすトップクラスの燃料タンクを
グローバルに供給する



◆ パノラマサンルーフの主要バリエーション



オープンルーフトップ
（リアパネルあり）



オープンルーフトップ
シングルパネル



パノラマインナー



パノラマアウター

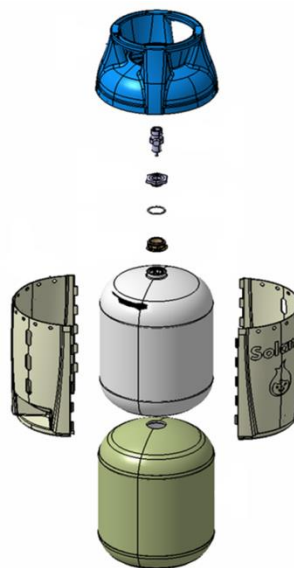


〈 サンルーフ 〉

「軽く、薄く、より開放感を」の徹底追及で
魅力No.1を目指す

① エネルギーストレージ （鉄から樹脂へ）

- ・ 液化石油ガス（LPG）家庭用
- ・ 高圧水素ガス ステーション用
車載用
- ・ 圧縮天然ガス（CNG）車載用



② 樹脂新技術

- ・ 少量多品種成形技術
- ・ 加飾樹脂製品
- ・ CFRP
（炭素繊維強化プラスチック）
etc.



培った技術・ノウハウを活かした新製品を展開



3MPa

LPGコンポジット容器カタログ



LPGコンポジット容器

本年度中のアジアでの販売を計画



105MPa



NEDO・・・新エネルギー・産業技術総合開発機構



20MPa



70MPa

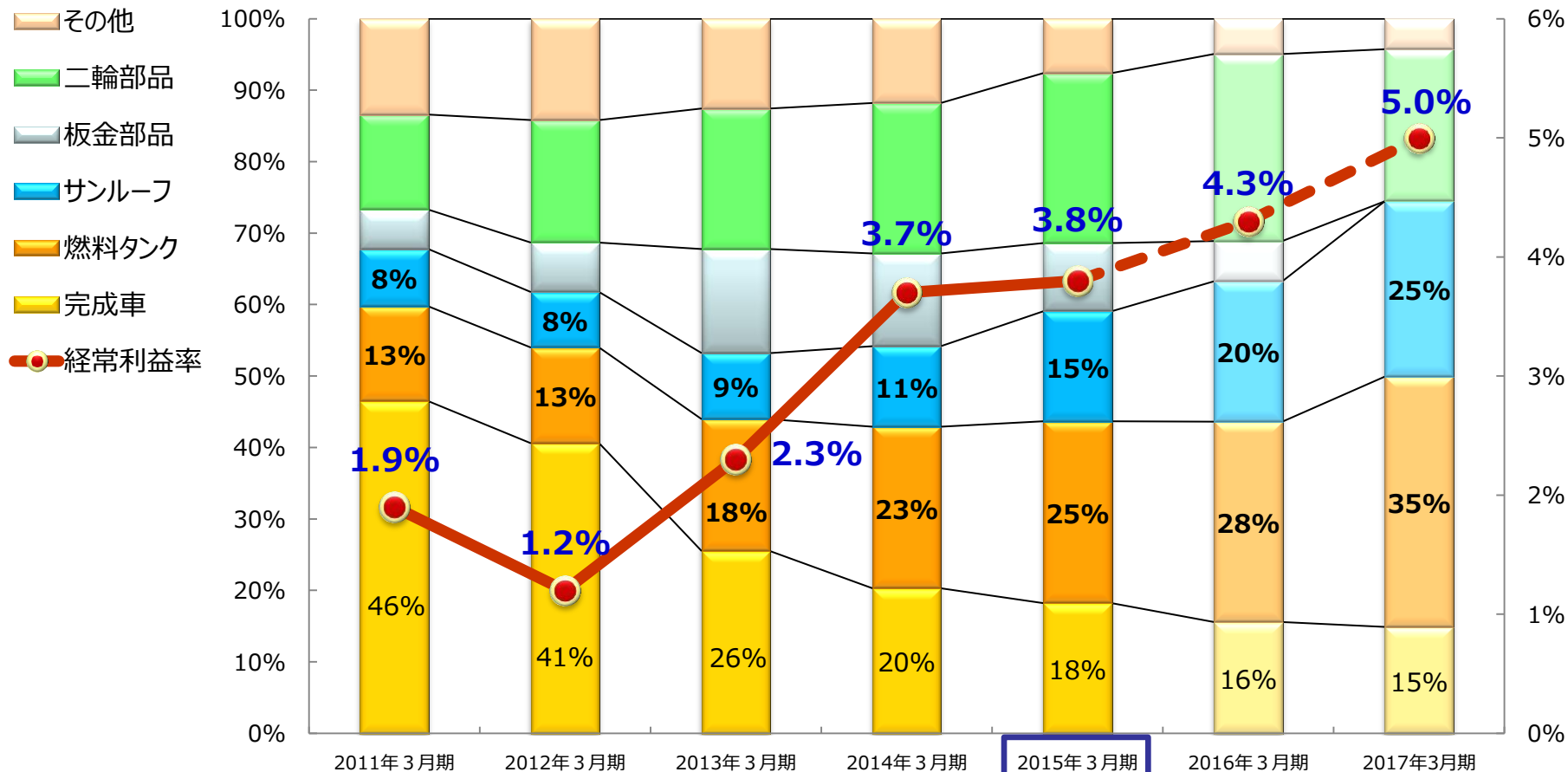


水素ステーション用蓄圧器の開発を集中推進



売上高比率

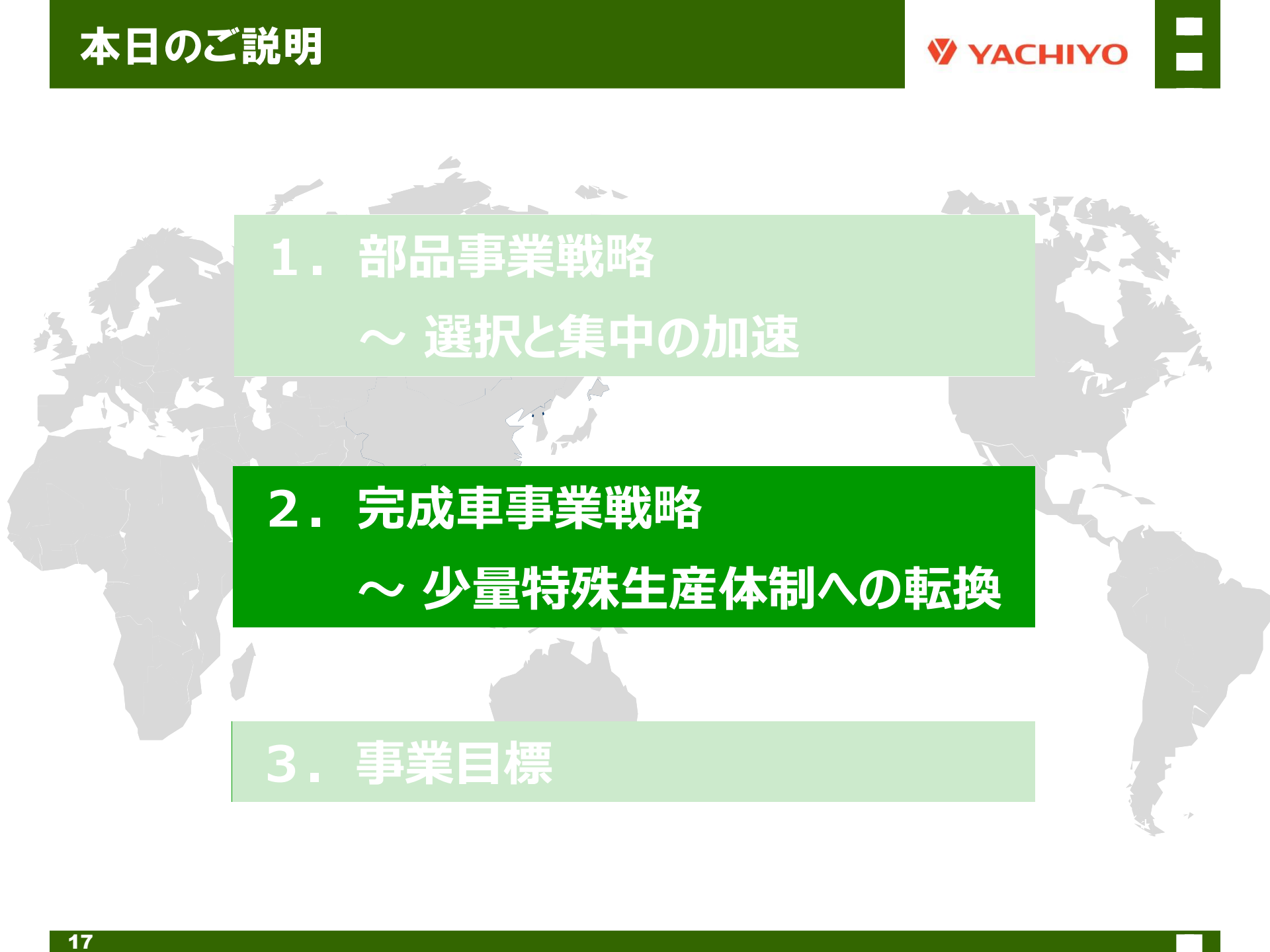
経常利益率



第11次中期
「変革と仕込みの期」

第12次中期
「育成の期」

選択と集中で、より利益の上がる企業体質に変革

A faint, light gray world map serves as the background for the slide.

1. 部品事業戦略
～ 選択と集中の加速

2. 完成車事業戦略
～ 少量特殊生産体制への転換

3. 事業目標



大量生産車種の受託生産から、少量特殊生産体制へ

特長ある製品で付加価値を高める事業へ転換



「大量生産」



「少量特殊生産」



四日市製作所
プレス工場

- ・ 1500トン タンデムプレス機
- ・ 1200トン プログレッシブプレス機
- ・ 400トン 連続ブラッキングプレスライン
- ・ 蓋物部品大量加工ライン etc.

・ 大量生産前提
・ 少量特殊生産
への体質転換
が困難

高い競争力と
生産規模を有する
板金部品専門メーカーに
最大活用していただく

ヤチヨの少量特殊生産と
東プレの大量生産との
コラボレーションにより、
新たな価値を生み出す

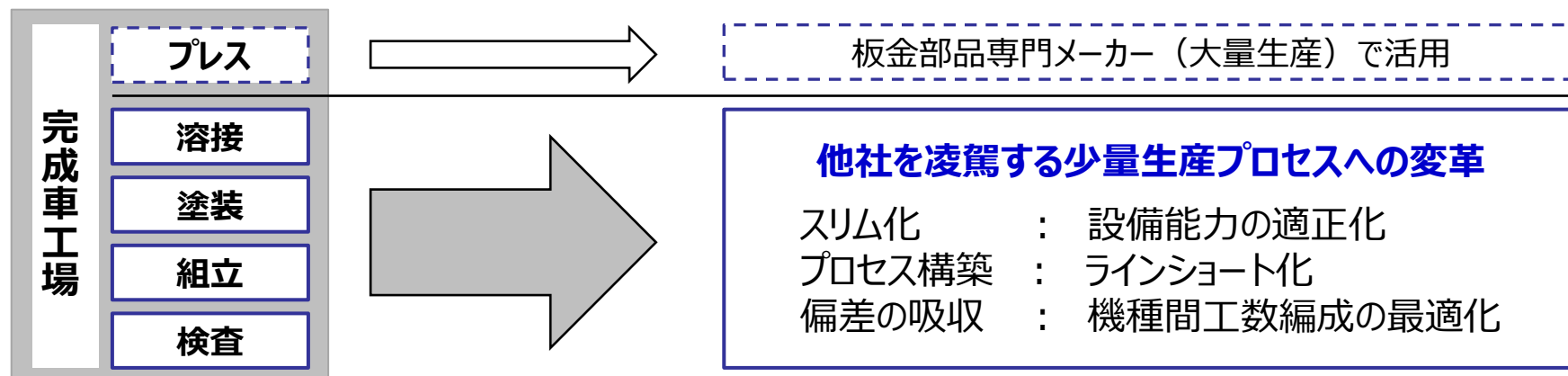
S660の生産を開始

YACHIYO

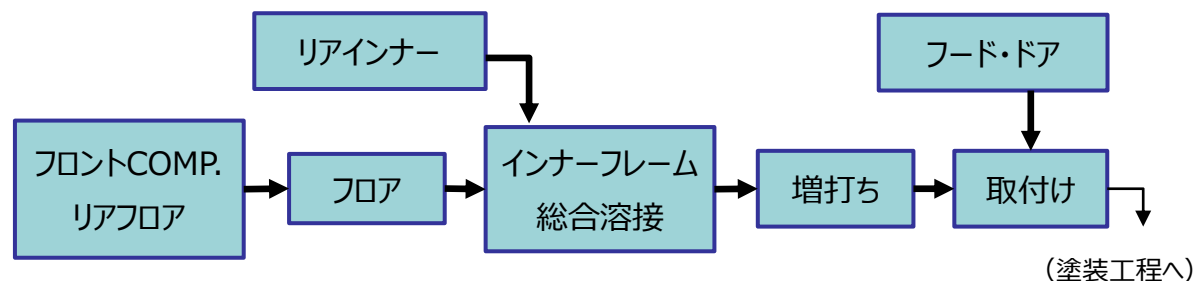


S660の生産ラインの様子はこちらからご覧いただけます。

<http://www.honda.co.jp/S660/gate/factory/>



《 溶接の例 》 徹底した汎用化、人と設備をうまくバランスした工程
『 時間を有効に使い、じっくり加工 』



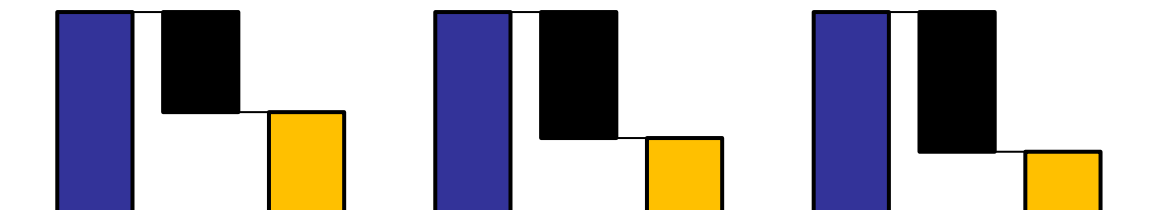
熟練作業者が複数作業を
掛け持つことにより
特殊なクルマであっても
コストを抑えた高品質な
ものづくりが可能



大型設備数

専用JIG数

人作業工程



大量生産との違いを明確にした魅力あるクルマづくりに特化し
付加価値を高め、新たな価値を提供する

ヤチヨの「少量・特殊」生産

完成車技術

ヤチヨならではの
つくり方で貢献

ニッチニーズ
バリエーション拡大
特別オーダー

魅力ある新しい価値の提供

特別感 独自性 高剛性 軽量 廉価
高意匠

部品技術

内外装部品

材料・成形技術

高品位塗装

加飾技術

金型技術

CFRP技術

特装領域

特装車



福祉車両



架装
カスタマイズ



完成車領域

軽スポーツ



軽トラック/バン



自動車メーカー

車両受入れ

A faint, light gray world map serves as the background for the slide.

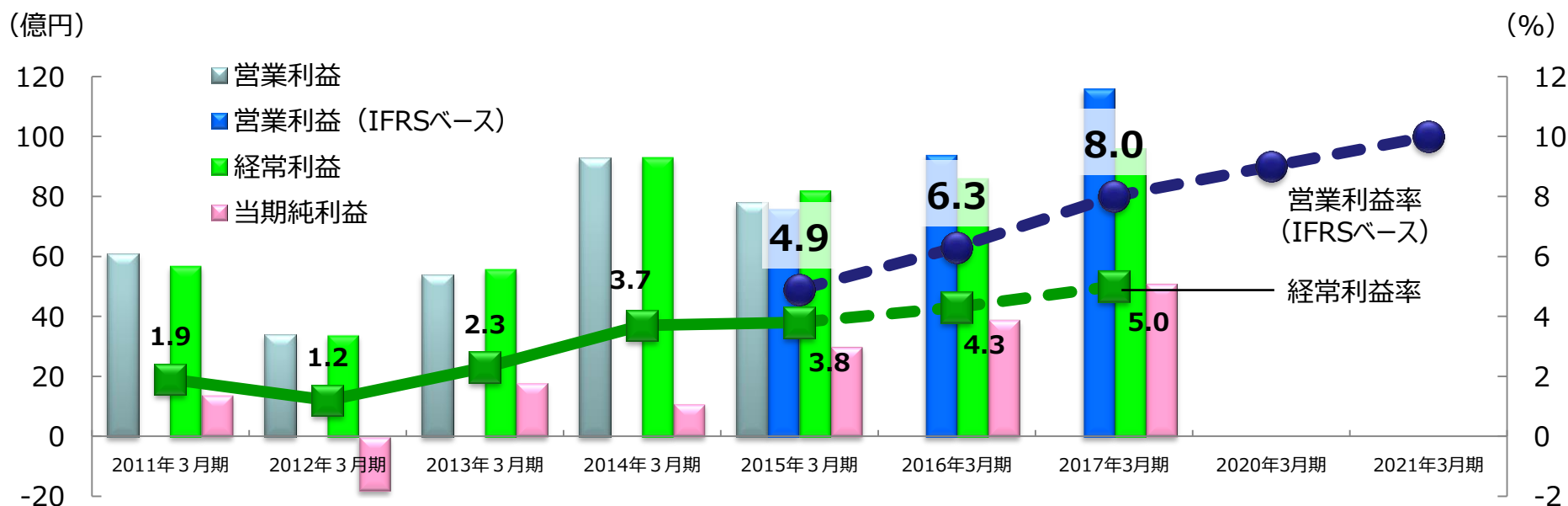
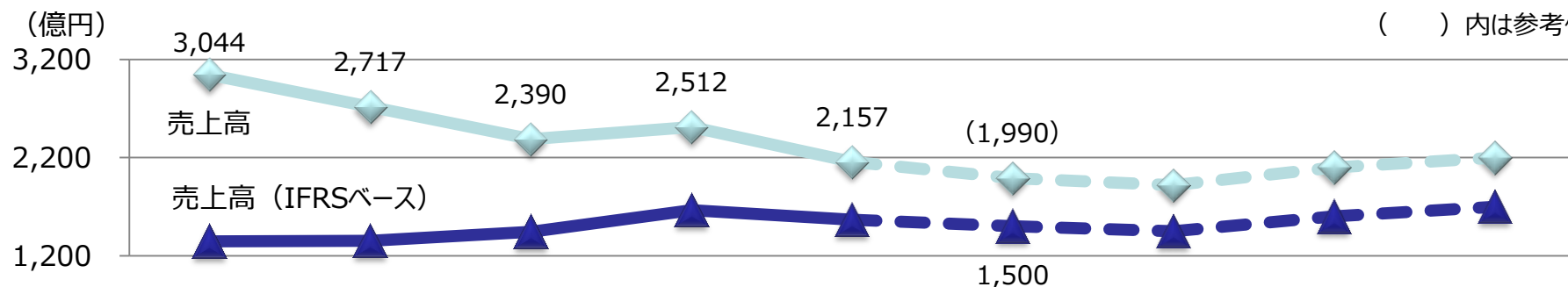
1. 部品事業戦略
～ 選択と集中の加速

2. 完成車事業戦略
～ 少量特殊生産体制への転換

3. 事業目標



() 内は参考値



第11次中期
「変革と仕込みの期」

第12次中期
「育成の期」

13中末
「収穫の期」

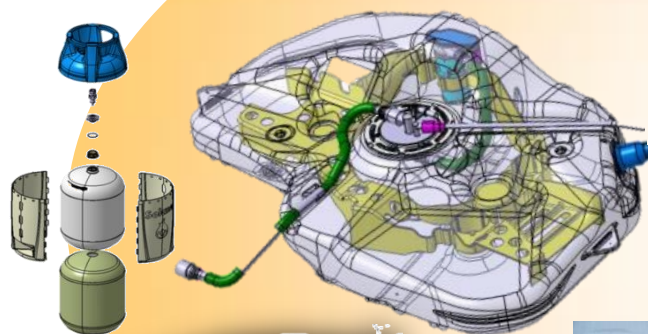
選択と集中で圧倒的競争力の獲得 ⇒ 高収益体質の実現

部品事業

- ◇ 事業・製品の選択と経営資源の集中
(主力製品の競争力向上・売上拡大)
- ◇ ノウハウを活用した新製品の提案

完成車事業

- ◇ 少量生産の進化
- ◇ 特装領域の拡大展開
- ◇ 特殊車両のつくりの進化



育成の期 “Time for Growth”



「育成の期」

卓越した技術と特長ある製品 = ヤチヨにしかできない製品・生産方法
他社との違いを明確にしたものづくりを着々と進めていく



YACHIYO

